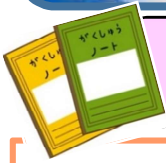




進修の空 2



はまぐち



後期の最初に いっしょに考えてみよう！【その2】

<後期のスタートから1週間です！>

12日(月)から後期がスタートしました。気持ちを新たに後期の目標や係を決めたりする取組が進んでいます。始業式は校内放送で行いましたが、そのときに次のことを続けようと話しました。

個人目標に3つのうちのどれかを書いた人もいますね。後期の活動が楽しみです！

- ◆自分から進んで気持ちのよい「あいさつ」をすること
- ◆先生の目を見て話を聞き、ノートをていねいに、工夫して書くこと
- ◆そうじをていねいにすること



「書くこと」について…「ピカイチ」をめざそう！

今年度に入ってから、2～5年生が「CRT(目標基準準拠検査)」、4,5年生が「みえ・スタディチェック」という学力テストを受けました。進修小の結果を見てみると、特に国語の「書くこと」についての力を付けた方がよいということが分かりました。答えを短い言葉で書いたり、記号を選んで書いたりする問題の正答率(正しい答え方をしている割合)は高い様子が見られるのですが、自分で文や文章にして答えを書く問題について少し苦手意識があるようです。

算数の問題でもよく似た結果になりました。

理由として、いろいろなパターンが考えられます。次に挙げるのは、みんながテストの振り返りで書いた内容です。

- ①「答えは分かっているのに、どう書き表したらよいのか分からなかった。」
- ②「時間がなかった。」「めんどくさかった。」
- ③「問題で何を聞かれているのか分からなかった。」



すぐに解決することは難しいですが、みんなにがんばってほしいことは、「書くこと」の習慣を身に付けることです。「書き続けること」です。みんなは毎日、「書く力」を身に付けるたくさんのチャンスに出合っています。その機会を大切にしてほしいです。

- ★授業で「自分の考え」や「ふりかえり」をノートに書くこと
- ★毎日のように「生活記録(日記)」を書くこと
- ★「朝読書」を続けていること



「書く力」を身に付けるには、書くときに使う「言葉」をたくさん身に付けておくことが大切です。そのためには、本や新聞、先生から配られる「たより」などの文章を読むことも大切です。「伝えたいことを伝えたい相手にしっかりと伝える」ためには、知っている言葉・自分が使える言葉をどんどん増やしましょう！

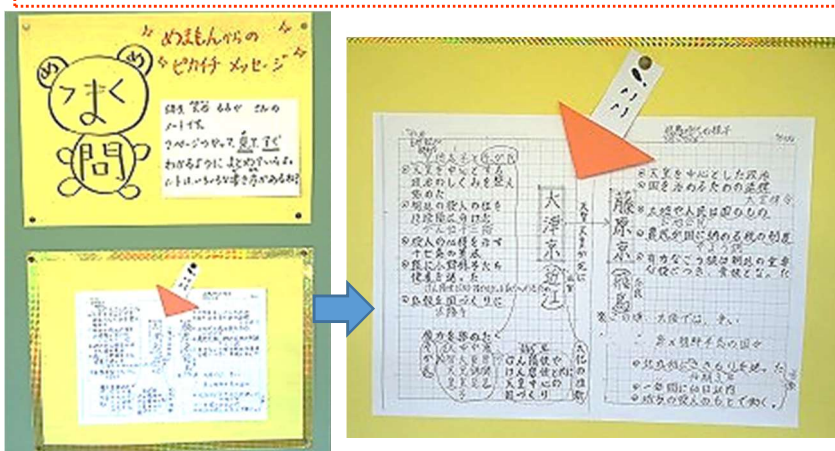
進修小には「書くこと」の名人がたくさんいます！



1階廊下の掲示板の「ノート名人！」はみんなが見ていると思います。学習通信「きらり☆通信」にも「ノート名人！」のノートが紹介されていますね。気が付いたと思いますが、「ノート名人」には幾つかのパターンがあります。

- ていねいに、正しく、濃い文字で書いている人
- 「やじるし (→・⇔)」や「マーク (△・○)」を付けて工夫している人
- 授業の「めあて」をもとにして、「ふりかえり」を詳しく書いている人

これからは、少し意識して、友だちや上級生のノートを見てみましょう。「どんな工夫をしているのか」気が付いたら、自分でもまねをしてみるとよいと思います。その次は、自分で工夫してみましょう！ どんどん授業が楽しくなってきますよ♪



6年生のAさんの社会科のノートを掲示板で紹介しています。左右のページに分かりやすくまとめてあり、文字もていねいです。1～5年生のみんなが、「6年生になったら、こんなノートがつかれるといいなあ。」と感じてくれているとうれしいです！



これからは、みんなが書いたすてきな「詩」や「俳句」などの作品も紹介していきます。今、掲示しているのは「3年生の詩」です。テーマは自由。題名も「本の世界に入りたい」・「いろいろな歩く音」・「もーもーもー」・「ランドセル」など、いろいろとあって楽しいです。書いた人がどんな場面に気が付いたのか、どんな言葉を選んでいるのかを考えながら読んでみましょう。

仲間の作品を知ることも大事な勉強です。



児童会代表委員会で「司会名人」「記録名人」を発見！

児童会代表委員会で9月の生活目標を振り返る会議が行われました。児童会役員の子もたちが司会と記録の担当です。黒板には各学年から出された意見が見やすく整理して書かれていました。

6年生のみんなの会議の進め方や黒板の文字のていねいさに感心しました。

リーダーが育ってきています！



児童会代表委員会の様子です

